

ちやうせんじせきぞうそうとう
長泉寺石造層塔

●所在地／宮下南組 長泉寺 ●所有者／長泉寺

宮下の長泉寺境内にある。基礎から相輪までの高さ237cm。凝灰岩で造られており、下記のような銘文が刻まれている。

付近に文永2年(1265)の紀年銘のある五輪塔2基のほか、五輪の残欠が多数残っている。『伊豫温故録』によると、この長泉寺付近に谷上山宝珠寺の末寺が富尾寺・今岡寺・安養寺・法音寺など7寺あったという。古い時代の石造遺品はこれらのものであろう。



文永二年乙丑十一月上旬
如法經奉所
富尾寺願主 日運 (通)